

メディカルアスレティックトレーナーチーム

アスリートサポート活動に加え、 新たに資格取得プログラムが始動

学生主体のメディカルアスレティックトレーナーチームは、アスリートサポートセンターと連携し、選手のケガ予防やコンディショニングなどを行う。また、トレーナー育成プログラムにおける本学独自の認定資格取得により、医学知識とトレーナーの知識に精通した次世代型トレーナーを目指す。



栄養サポート

「アスリート食」の提供のほか 女性アスリート向けの講演会を開催

競技力向上、健康維持のための「アスリート食」は各自の状況に応じて「パワー系」、「持久系」から選択。個別に栄養指導や健康管理についても相談に応じるほか、各自の意識向上を目的とした「女性アスリート向け」の各種講演会も開催している。



施設

大学キャンパス内に 2棟目の女子スポーツ寮が完成

スポーツと学業の両立に励む女性アスリートのためのシェアハウス型スポーツ寮を完備。キャンパス内に併設し、管理人が常駐するなど、安心して過ごせる最良の環境が整っています。今春には2棟目が完成。



京都・南丹から、全国、世界へ躍動。

強化指定クラブの選手たちの活躍の軌跡をレポート。



全国大会準V! (団体3人制) チーム力アップで、 頂点を目指す

創部1年目の快挙に沸きながらも、チームはしっかりと次の目標を見据えていた。「しっかりと個々の力を出し切れば、3年で全国を取れるレベルには間違いなくいける」という小川監督の言葉を体現するかのように、選手たちは春のシーズンインからエンジン全開。新戦力を迎え、さらにチーム力が高まるなか、関西大会を難なく勝ち進むと、全国大会でも、その快進撃には目を見張るものがあった。決勝では、惜しくも3連覇の早稲田大に屈したものの、来年の「優勝」へ強い手応えを感じたに違いない。

全国での悔しさを胸に、チームとしてその後の取り組みがさらに充実。個々の意識の高まりが結果にもつながり、近畿ジュニア、全日本ジュニアと活躍の舞台は広がる。2019年は、悲願の日本一に挑む。

大会結果	
● 第26回関西学生女子柔道優勝大会	女子団体戦3人制(1部) 優勝
● 第27回全日本学生柔道優勝大会	女子団体戦3人制(1部) 準優勝
● 第13回近畿ジュニア柔道体重別選手権大会	78kg超級 準優勝 三苫桃子/ベスト8 上田莉圭
● 第30回関西学生柔道体重別選手権大会	48kg級 ベスト8 中山さつき/63kg級 ベスト8 河野志歩
● 全日本ジュニア柔道体重別選手権大会	78kg超級出場 三苫桃子

女子柔道部



堂々の戦いぶりで見事な全国大会準優勝(団体3人制)



勝負どころでチームをけん引、流れをつくれた林(1年) 準決勝の決定戦の戦況をみつめる明治の選手たち



[関西インカレ]4x400mリレーで堂々の3位入賞 1年生ながら、関西インカレ6位と気を吐いた山本(1年)

トラック&フィールド、地力を強化した1年

今年の春シーズンは天候に恵まれない試合も多かったものの、男子はトラック、フィールドともに躍進。関西インカレでは2部総合4位、特にフィールドは優勝を手にするなど強さを発揮した。女子も、投てき種目で1・2年生の活躍が目立った。個人に目を向けると、男子ハンマー陣が全国トップ8入りを果たし、来シーズンは表彰台を狙う。2019年、さらなる飛躍に注目が集まる。

悲願の全国大会出場(個人) 来年こそは、個人と団体の W出場を目指す

大会結果	
● 第48回関西女子学生剣道選手権大会	ベスト8 阿瀬知/ベスト32 中園・西原
● 第33回西日本女子学生剣道大会	ベスト32
● 第52回全日本女子学生剣道選手権大会	2回戦敗退 阿瀬知
● 第13回全日本学生剣道オープン大会	決勝トーナメント出場 野口
● 第31回関西学生剣道新人大会	ベスト4 市瀬

陸上競技部

大会結果	
● 第95回関西学生陸上競技対校選手権大会	【男子2部】 円盤投 優勝 ソーンリー浩夢ロイ 40m20/2位 天野大輝 39m88 ハンマー投 優勝 若山哲也 61m11 2位 田村啓斗 58m06/3位 仲西隆世 56m03 やり投 優勝 岡田大地 61m88 2位 金川陽亮 60m74/3位 小牧豊和 59m03 4x400mR 3位 東、横路、齋藤、勝原 3分13秒80
● 2018日本学生陸上競技個人選手権大会	【男子】ハンマー投 5位 若山哲也 64m30/7位 田村啓斗 61m50
● 第71回西日本学生陸上競技対校選手権大会	【男子】やり投 6位 小牧豊和 67m64/8位 金川陽亮 65m52
● 天皇賜盃第87回日本学生陸上競技対校選手権大会	【男子】ハンマー投 6位 若山哲也 62m73/11位 田村啓斗 56m49 ※予選でPB(61m58)

写真提供:月刊陸上競技

女子剣道部

「今年こそ」の思いが、幸先よく個人の部で実現した。阿瀬知(2年)が全国大会初出場を手にした。初戦で、全国常連の豪強と対峙したものの一歩も引けをとることなく、勝ちすら見えた一戦であったが、惜しくも敗退。リベンジの場を団体での全国大会へと向けるが、思い届かず、目標達成は来年へと持ち越された。出場する選手、サポートする選手、みんなの思いがひとつになってこそ悲願達成。持ち前のチームワークで来年こそ、笑顔の大輪を咲かせたい。



大学として初の全国出場を果たした阿瀬知(2年) 武道場・明倫館が完成し、さらなる飛躍へ、環境は整った。



全国大会初得点に喜びを爆発させる明治イレブン



後半は再三の決定機を作った攻撃陣

試合後、悔し涙をみせたものの、着実に進化した力はみせた

女子サッカー部 インカレ2年連続出場! 惜敗の裏で、全国上位を 虎視眈々と狙う。

春の戦いは、厳しいスタートとなった。勝ちきれない試合、かみ合わない試合が続き、終わってみれば、まさかの1部6位。全日本インカレ出場へ黄色信号か、と思われたが、チームも監督も悲観するところはなかった。「春先から取り組んできたことはしっかりできている。ゲームなので、勝ち負けはありますが、内容としては悪くないし、着実にいい方向に向いている」と秋のリーグ戦初戦で語ってくれた中村監督。終わってみれば、秋季リーグ3位で、見事2年連続で全日本インカレ出場を手にした。

そして、初戦突破をと臨んだ初戦の愛知東邦大戦。「課題は、大きい舞台での試合への入り方ですね。悔やまれます」と監督が漏らした開始早々の失点。力の差はなく、むしろ後半は自慢の攻撃陣が押し込んでいただけに、惜しい敗戦となった。3度目の正直、2019年はあっと驚く明治旋風を期待したい。

大会結果	
● 関西学生女子サッカー 春季リーグ(1部)	6位 勝ち点 7 2勝1分4敗
● 第40回皇后杯全日本女子サッカー選手権関西大会	1回戦 ● vs 武庫川女子大 1-2
● 関西学生女子サッカー 秋季リーグ(1部)	3位 勝ち点 10 3勝1分3敗
● 全日本大学女子サッカー選手権大会	1回戦 ● vs 愛知東邦大 1-2



1年で4部から、2部へ、チーム一丸上位へ挑む



男子バレーボール部

充実の1年。 歯車がかみ合い、一気に2部へ躍進。

課題克服へ取り組んだシーズンオフを明けてからの快進撃が止まらなかった。「とにかくサーブ、レシーブのミスなくす」という小島監督の号令のもと、安易なミスでの失点をなくすべく、徹底的に取り組んだ成果が一気に花開いた。昨年までと違い、各自が自信を持ってプレーし、且つしっかりとゲームプランのもと、試合を進めている。とはいえ、ようやくスタート地点に立ったというのが、チームの本音。ここからが、本当のアタック。2部の混戦を切り裂く、充実一途のチームバレーに注目。

大会結果	
● 2018年度 関西学生バレーボール 春季リーグ戦(4部)	2位 7勝1敗 ☆入替戦に勝利し3部昇格
● 第44回西日本バレーボール大学選手権大会	予選グループ 突破/決勝トーナメント 2回戦進出
● 2018年度 関西学生バレーボール 秋季リーグ戦(3部)	2位 7勝1敗 ☆入替戦に勝利し2部昇格